



# 大森第二中学校 保護者通信

令和3年11月4日  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
TEL 3762-6456

## 合唱コンクールの対応等について

まずは、2日(火)に本校体育館で合唱コンクールを無事に開催することができました。今回の開催については、たくさんのご意見を頂戴いたしました。この場を借りて返答をさせていただきます。

### ☆開催判断の遅れについて

緊急事態宣言が9月末に解除され、コロナ感染者数の推移を見ていました。それに基づき、開催形態をどうするかを検討しました。最終判断が10月22日になり、その時点で体育館での全校生徒集まったの開催に決定しました。確かに判断が遅れたことはお詫びいたしますが、ギリギリまで模索し、生徒にとってどのような開催形態が望ましいかを検討していたことは、ご理解をいただきたいと思えます。

### ☆無観客対応について

当初、合唱コンクールは、アプリコ大ホールの予定でしたが、キャンセル料がかからない最終判断が7月でした。その時点でのコロナ感染者は増加傾向であり、先の見通しが立たない状況でしたので、アプリコをキャンセルして、本校体育館に変更しました。全校生徒が集まった場合、生徒だけで満員状態になるのが本校体育館です。最終判断の際、やむを得ず、体育館の収容人数から保護者の参観はなしとしました。

### ☆学校評価としての参観(学校運営協議会)について

本校は今年度から、コミュニティ・スクールモデル事業実施校として、地域と学校の連携を進めています。ここに参加していただいている学校運営協議委員(地域代表7名)は、準職員としての扱いで、深く学校運営に携わっていただいています。学校行事は学校を評価する機会としています。今回、参観していただいた方々は、あらゆる角度から評価をしていただくためにお呼びいたしました。保護者に優先して地域を招いたわけではありませんので、ご理解いただきたいと思えます。

### ☆吹奏楽部の参観について

大田区の部活動ガイドラインでは、対外試合や練習試合・コンクールの保護者観戦は中止のままです。本校では、部活動の練習風景等について、感染対策をとって、特別に保護者の参観を認めています(部ごとに決めています)。1日の吹奏楽部の参観は、この一環として行われたもので、合唱コンクールのリハーサルとは関係ありません。誤解を招いたことはお詫びいたしますが、保護者の観戦が制限される中、本校だけの特別措置であることをご理解いただきたいと思えます。



## ☆学校行事のねらい

学習指導要領には「集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う」ことを目標にしながら、生徒の成長を図っています。そのねらいに沿って教育活動を行っています。生徒の成長や行事の本来のねらいが最優先ですので、コロナ禍の難しい学校行事の運営の中では、様々な角度から実施形態を考えていくことになります。できる範囲で保護者の参観を模索しましたが、現状の施設規模や今回の開催形態等から、合唱コンクールにおける参観はなしとしました。保護者の方にご理解いただきたいのは、学校行事は教育活動であり、イベントではありません。ご家庭でのお子さまとの対話を通して、練習の過程で成長したお子様を通して、学校行事の充実度を見ていただくと有り難く思います。

## ○合唱コンクール当日の風景

合唱コンクール当日は、各学年とも鑑賞態度も立派でした。

1年生は最初の合唱コンクールでした。舞台の上から見る全校生徒の風景に、足もすくんだことでしょう。しかし、歌声はすばらしいものでした。練習の成果が舞台上で発揮できた、そんな1年生の合唱でした。

2年生は昨年の初々しさから成長し、男声パートも力強い声量に変わっていました。堂々と舞台の上で歌う姿は、1年間の成長を感じさせます。各クラスとも個性が発揮できた2年生の合唱でした。

3年生、最初の全員合唱で体育館に響き渡る声量に圧倒されました。1年生の頃、練習にも集中できず、自分と向き合えなかった。でも目の前で歌っている3年生は、自信に満ち溢れた姿でした。各クラスとも課題曲と自由曲を歌いきり、清々しい気持ちで合唱コンクールを終えました。

午後の吹奏楽部の発表は、4年連続の金賞どおり、体育館全体を魅了する演奏になりました。演奏者と会場が一体になって、午後の舞台を締めくくりました。

閉会式での結果発表（金賞：1年3組、2年4組、3年5組）がありました。最後は実行委員長のことば。すべての人に感謝することやこのコンクールを学校生活に生かすこと、との話があり、令和3年度の合唱コンクールは幕を閉じました。



【学校公開週間 11月8日（月）～ 12日（金）】

授業参観になります。感染予防対策をしていただき、生徒の様子をご覧ください。